

「まちづくりファンド」は、高知市に住むあなたのまちづくり活動を応援します

公益信託高知市まちづくりファンドニュース



まちファン

40号

2023年3月1日

2022年度公益信託「まちづくりファンド」中間発表会



2022年度事業の進捗報告を行うための「中間発表会」が開催されました。今年は、参加者間での交流タイムや意見交換会が楽しく実施でき、多くのツナガリが生まれるきっかけになりました。ファンドの各発表会や審査会は、一般の方どなたでもご参加できますので、お気軽にお越しください。



F まちづくりたまごコース

上限
3万円

F1

おもちゃの広場
(おもちゃと遊びの交流サロン・木育)

こうちあそびマルシェ

遊びを通した親子のコミュニケーションと交流の場として、「おもちゃの広場」を開催しました。

木のおもちゃに触れる体験を通じて、高知県産木材の良さや利用について考えるきっかけとなることも期待しています。



できた！

親子ともに真剣です！



Q1 「おもちゃの広場」を始めるきっかけは？

親子が出会い、交流できる場をつくりたいと考えていた頃、まちづくりファンドを知りました。助成金の申請にあたり、自分たちのイメージを見つめ直すことで、内容の具体化・整理ができ、はじめの一歩を踏み出すことができました。



Q2 メンバーは、何名ですか？

現在は、私を含めた保育士3人です。今後、体制が整えば子育て支援やおもちゃに関心のある学生や一般の方をボランティアとして受け入れ、共に活動できればと考えています。



Q3 「おもちゃの広場」の参加者層は？

主に0歳～5歳位の子どもと保護者です。期待した通り日曜日に開催することで、お父さんにも参加してもらえました。いずれは、対象を小学生まで広げたいと思っています。



Q4 今後の活動について

これからは活動の回数を増やしていく予定です。春休みや夏休み期間を利用し、木工教室や音楽コンサートなどのイベントも一緒にできたらと考えています。親子や地域の方々がふれあえる場づくりを続けていきたいです。



代表 濱田 奈央さん

2022年度

助成団体 中間発表会

2023(令和5)年 1月22日(日)
高知市役所本庁舎2階 **せんだんの木**



すばらしい活動ですね!



地域に根付いた活動に
なっていますね

細かい細工の手作り甲冑



ブレイクタイムには、
『ほっと笑』提供のおかしを!



お祭りでのイラスト展示



B ふくしでまちづくりコース

上限
10万円



C まちづくりはじめての一步コース

上限
10万円

B1 世代間交流のできる居場所づくり

一般社団法人地域学校協働・家庭教育支援・ 世代間交流センター もうひとつの大きな家族

『ほっと笑』は、世代間交流の出来る場所が欲しいという地域の声を受けて開設された、みんなの食堂です。ここでは、学習支援や世代間交流のイベントを行うなど、「学びと活動の場」も提供しています。また、新たに不登校支援や野菜づくりにも取り組み始めました。関わる人や団体が徐々に増え、『ほっと笑』が社会資源の一つとして認知されているのを実感しています。これからもみんながほっとして笑顔になれる活動を続けていきたいです。

参加者の声

- ・他団体や学生さんとの交流、とてもいいなと思いました。
- ・すごい活動量ですね!季節ごとのイベントも楽しそうです。
- ・しっかりと地域に根付いた活動になっていると思います。

Q&A

Q: 活動に関わるスタッフは何人くらいいますか?

A: 主に活動しているのは、3人でそれぞれの得意分野を生かして役割分担しています。その他には、地域の方や大学生がボランティアとして参加してくれています。

C1 種崎地区を元気にしたい!

パーカッションバンド「エスペランサ」

第6回「元気になるコンサート」を昨年9月に三里文化会館で開催しました。急ぎよ会場と日程を変更したため、出場できないバンドもありましたが、当日は、100人ほどの方が音楽を聴きに集まってくれました。コロナ禍で外出を控える人もおり、思ったより少ない参加者でした。しかし、今後より多くの方に参加してもらうためには、歩みを止めることなく続けていくことが大切だと思っています。

参加者の声

- ・音楽を通じての盛り上げも素敵です!
- ・来場者と歌で交流できて、工夫していますね。
- ・コロナに負けず来年も継続活動は前向きで良いですね。

Q&A

Q: 今後の活動予定は?

A: 第7回目となる来年度のコンサートは、ジャズピアニストやジャズシンガーを招き、地域の方を巻き込みながら、より盛大に開催したいと考えています。

ほっとして笑顔になれる活動を



もうひとつの大きな家族
不登校支援や野菜づくりにも
取り組み始めました

パーカッションバンド
「エスぺランサ」
歩みを止めることなく
続けていくことが大切

元気になろうコンサート



パティシエさん！



学生たちがたくさん参加してくれました

非日常を体験して豊かに



高知プリマ会
バレエを通して豊かな生活と
コミュニティづくり



仁ノ八幡宮保存会
仁ノ地区に活性化のムードが
出てきました!



①まちづくり一歩前へコース

上限
30万円

C2 地域で楽しむ大人バレエ

高知プリマ会

地域の方向士の交流や心と体を整えることを目指し、週に1回、大人バレエの運動を実施しています。また、月に1回は、多様な講師を招き勉強会(メイク等)や催し物(音楽・クリスマス会等)も開いています。今まで知らなかったバレエ運動に参加し、非日常を体験することで、豊かな生活のきっかけづくりとなるよう期待しています。また、6月には、メンバーで小さなおさらい会を開催し、お互いの成果を確認しあう予定です。

参加者の声

- ・事業に工夫がみられて面白い。
- ・バレエを通してのコミュニティづくりができています。
- ・多様な活動を通じて地域を元気にしていることはとても良い。

●Q&A●

Q:大人バレエ運動とは?

A:バレエの動きを取り入れた運動という意味です。「バレエレッスン」というと初心者の方には、ハードルが高いと思いき、参加しやすくなるよう「大人バレエ運動」と呼んでいます。

D1 仁ノ八幡宮の祭りを盛り上げ町を元気にしよう

仁ノ八幡宮保存会

秋祭りには、地区内外から多くの参加者があり、賑やかに実施することができました。祭り当日は、春野高校の学生たちがボランティアで参加し、会場を盛り上げてくれています。今回は、短歌募集に力を入れ、事前に短歌教室を開いたり、地元の春野中学校にもアピールを行いました。おかげで応募作品が集まり、「中学生の部」を新設することができました。祭りが賑わいを取り戻したことで、集落活動センター開設の動きが相乗効果となり、仁ノ地区に少しずつ活性化のムードが出来つつあります。

参加者の声

- ・たくさんの参加応募が素晴らしい!
- ・中学生・高校生の参加、良いですね。
- ・地域にある資源を活用し、地域ならではの活動(短歌教室など)をしているのが良い。

●Q&A●

Q:神社の祭りと集落活動センターの相乗効果は、どのようなもの?

A:お互い別の組織ですが、地域を元気にしようという思いは同じです。それぞれの活動に刺激を受けながら、地域活性に向けての気運が高まるのを感じています。

潮江防災士会

より見やすいマップにするため
調整していきます

「津波避難ビル編」について調査を実施



FFC高知

(フーズフォーチルドレン高知)
様々な体験型イベントで
みんなが笑顔に!



いい意見だよ〜



子どもの笑顔がすばらしい



特定非営利活動法人
キャリア・ライフ高知
多くの方に活動を知ってもらいたい

高知自作甲冑教室実行委員会

広報活動を充実させ、
一つずつ進めていきます



広報活動を頑張る!



休憩中の雑談から、団体さん同士の
コラボが決まることも…



活動そのものに意味があります

D2 高知で自作甲冑教室をやろう ～市民が作る市民参加型まちづくり～

高知自作甲冑教室実行委員会

今年度の甲冑教室はこれから開催していきます。長宗我部フェスで相談のあった方が受講予定です。

課題は興味を持っていただいても、実際の受講になかなかつながらないことです。

メディア露出を増やすなど、広報活動を充実させたいです。他にも、県内で開催される武者行列に、主催者と連携しながら県外からの参加者を呼び込んだり、地域おこし協力隊との連携など、できることを一つずつ進めていきます。

今後は、これまでの経験を活かし、助成金に頼らず運営していける体制づくりを次年度にむけて進めていきます。

参加者の声

- ・貴重な活動です。継続して欲しいです!
- ・甲冑を着た勇壮な武者行列を見たいので、人数増えるほど話題になる教室だと思いました。
- ・助成金に頼らず、活動の自立に向けた動きがいいと思います。

●Q&A●

Q:チラシはどこへ置かれていますか?今後の人の集め方は?

A: 近くにある歴史系の施設へお願いに行ったり、長宗我部祭りで配っております。その他、SNSで広報しています。

D3 無料電話相談 “聴いてもらって安心ホットライン”

特定非営利活動法人キャリア・ライフ高知

毎週金曜日午後6時～8時までの間、無料の電話相談を行っています。1月6日現在で、25件(男性15名・女性10名)の相談がありました。相談内容は、家族問題や職場問題、精神疾患についてなど多岐に渡ります。今後は、より広く、多くの方に活動を知ってもらう為の広報活動が必要と感じます。その為に、引き続き新聞掲載・チラシ、カードの追加配布を行っていきます。また、これまで研修を実施した会社に案内をかけるなど努力していきたいです。

参加者の声

- ・活動そのものに意味がある。
- ・こういった活動は相談先がいろいろあった方が良いと思うので、とても良い活動をされていると思いました。
- ・苦しい事業ですが、頑張ってください。

●Q&A●

Q: 基本は傾聴することですか?アドバイスはされていますか?マニュアルはありますか?

A: 基本、傾聴です。話をすることで、相談者ご自身で考えることが出来るよう心がけています。マニュアルはありませんが、キャリアコンサルタント資格者が対応しております。

D4 アート×イートで！ 未来子育て環境を整えよう

FFC高知（フーズフォーチルドレン高知）

「食育、アート、共育でみんな笑顔の高知市にする」を目的とし、講座やワークショップを通じて学びと集う場を提供しています。親子もちつき大会など様々な体験型イベントを実施し、主に、InstagramやLINE等で告知し、これまで約120名が参加されました。「こんなに笑ってこんなにお腹いっぱいになって幸せ」「子どもの声が聞こえて嬉しい」など、参加者や地域の方の声も聞かれました。企画・運営・集客までボランティアスタッフの負担が大きいことが悩みです。

参加者の声

- ・こどもの笑顔はすばらしいですね。続けて下さい。
- ・たくさんのお催しありがとうございます。
- ・食や遊びを通して自然環境を守ってとても大切ですね。
- ・小さい頃からこのような環境・仲間の中で育っていくことは、子供達の心を育てていくことにもなり素晴らしいですね。

Q:準備が大変だと思いますが、スタッフや仲間は何人くらいいますか？

A:お母さん達15人ほどのLINEグループがあり、それと別に講師の方何名かグループに入って頂いています。毎回、イベント参加者の中にも手伝って下さる方がおり、そういった方が数名ずつ増えています。

D5 潮江地区津波避難ビル・ 防災マップの作成

潮江防災士会

昨年度作成した潮江地区津波避難路～自然の高台編～マップをもとに、本年度は～津波避難ビル編～について現地調査を実施し、マップを作成していきます。調査していく中で、「津波避難ビルには民間施設と公的施設がある為、一律に表現することが困難」など新たな問題も出てきました。今後は、高知市防災推進課とも連携し、より見やすいマップにするため調整していきます。（昨年度の避難マップのデータも高知市と共有しています。）

参加者の声

- ・私の地域でもこんなマップができればいいと思うほど、すばらしいマップです。
- ・疑問点の拾い出し、マップへの記載方法検討がすばらしい。
- ・地域の安全に寄与されていることがよく分かりました。今後も頑張ってください。

Q:このマップを見ながらの避難訓練は開催されていますか？

A:自分たちは実証実験として行いましたが、基本的には各自主防災組織で活用して頂ければと思っており、マップも渡しております。

●中間発表会を終えて、運営委員からひと言

<p>●運営委員長 増田 和剛 高知中・高等学校</p>  <p>活動を展開させるために大事なことは、様々な課題に向き合うことと、日頃から地域の課題や情報をインプットしつつ、その上で、活動にどのようにつなげていくのかというアウトプットの部分がとても重要だと感じさせられました。</p>	<p>●副運営委員長 堀 洋子 社団法人高知県建築士会</p>  <p>「ふくしまちづくり」コースの「世代間交流のできる居場所づくり」は、コロナ禍で弱い立場にいる人達にピンポイントな支援、月1回の季節行事で世代間交流、他の助成団体とのコラボ交流など様々な活動で地域の「もうひとつの大きな家族」を目指して活動されています。</p>	<p>●運営委員 高橋 鉄昭 高知市社会福祉協議会 土佐山健康福祉センター</p>  <p>中間発表を聞かせていただき、事業のすばらしさや大変さとともに長引くコロナ対応にじれったさを感じている様子が見られましたが、事業によっては活動の幅に広がりが出てきているものもあり、また事業間のつながりも出てきていますので今後がますます楽しみです。</p>
<p>●運営委員 四宮 成晴 四宮計画事務所</p>  <p>順調に活躍する団体があれば、苦戦を強いられている団体がある。我がまちへ様々な切り口と仕掛けと手法を以て、まちを揺り動かす活動にどれも間違いはない。それを痛切に感じることのできたこの中間報告会、各団体に敬服。</p>	<p>●運営委員 田中 希和 公益財団法人 高知市文化振興事業団</p>  <p>いつになく団体さん同士の交流が活発だったように感じた中間発表会でした。2度目3度目の助成で、まちファンの卒業が見えてきた団体さんは、取り組み方にも変化があり、今後の活動も楽しみです。</p>	<p>●運営委員 中平 大輔 社会福祉法人昭和会</p>  <p>団体の皆さんが積極的に関わり、繋がっていく様子に「まちづくりファンド」の事業が多くの人の心を育み、その効果やこれからの可能性が感じられた中間発表会でした。展示物の発表もありがとうございました。</p>
<p>●運営委員 宮地 貴剛 ラ・ヴィータ宮地電機株式会社</p>  <p>中間発表をいただき、ありがとうございます。各団体が協力しあいながら、当初の目的を達すべく、努力、工夫をされている様子が伝わってきました。残り半年間で、成果が上がることを期待しています。</p>	<p>●運営委員 吉本 怜 高知工科大学 (経済・マネジメント学群)</p>  <p>今回の中間発表から感じたことは、人と人との繋がりが着実に広がっていることです。団体同士や地域に暮らす人々が、まちづくりファンドを通じて共に活動することは今後の高知市の財産になると感じました。</p>	 <p>高知市まちづくりファンド、名物ふせん貼り</p>



F まちづくりたまごコース

上限
3万円

F2 花いっぱい運動

桂浜町内会

桂浜の旧道沿いを明るくしようという想いで活動を始めました。この地区では、高齢化が進んでいますが、一緒に植栽を行うことは、住民同士のつながりを生み、健康づくりにも効果があると感じてい



ます。今後も四季折々の花を植えることで、訪れた人がほっとするような安らぎのあるまちを目指していきたいです。

F3

食で人と地域をつなぐ (食で地域活性化)

ちいきめしプロジェクトinみませ実行委員会

「ちいきめしプロジェクト」は、地域ならではの食材や食文化を掘り起こし、活用・開発・ブランド化することで、地域おこしへとつなげる



プロジェクトです。まず始めに、御豊瀬地区ならではの食文化を紹介するリーフレットを作成し、地域外へPRすることで地域の食文化に興味を持ってもらいたいと考えています。

増田ノオト 中間発表会を終えて一委員長のつぶやき

今回の発表団体は、地域の中の課題として地域の方が取り組んでいる団体が3つ。地域の中に持ち込んで取り組んでいる団体が5団体、計8団体。まちの活性化には色々なタイプのやり方があるかなと気づきました。これからのまちづくりについても、まだまだ色々な活性化の方法があるような気がします。

そういった中で、まずは大人である私たちが元気である事、それが大切と感じます。皆さんは、職場でもなく、家庭でもなく、もう一ヶ所、「自分が発揮できる場所(サードプレイス)」を、自分たちの地域の中に持っているでしょうか？そういう場所があって初めて「ああしてみたい!こうしてみたい!」という意見がそこから繋がって広がり、原動力となることで地域活性に繋がっていくのではないかと思います。

本日も、沢山の方が色々な意見を言葉で皆さんに伝え、繋がりの場になったと思います。今後もまちづくりファンドが公開で行われている事のメリットを十分に活かしてもらいたいと思います。



寄付のお願い

まちづくりファンドは皆様のまちづくり活動を支援する仕組みです。



まちづくりファンドの創設にあたり、高知市から出捐(しゅつえん)された基金を毎年取り崩しながら助成しています。少しでも長く市民のまちづくり活動に活かされるよう、多くの皆様のご寄付をお願いいたします。

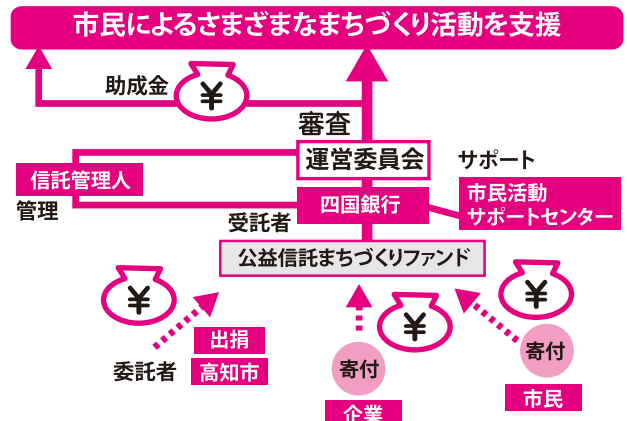
寄付に関するお問い合わせ・お申し込みは、下記にご連絡ください。

株式会社 四国銀行 コンサルティング部 信託担当
TEL088-871-2111(代表)
〒780-8605 高知市南はりまや町1丁目1-1

お問い合わせ

高知市市民活動サポートセンター
(月～金 10:00～21:00、土 10:00～18:00)
TEL 088-820-1540
〒780-0862 高知市鷹匠町2丁目1-43
高知市たかじょう庁舎2階
E-mail info@kochi-machifun.org
https://www.kochi-saposen.net

公益信託高知市まちづくりファンドのしくみ



市民活動の輪を広げようと、1999年4月に高知市が設置した施設です。現在「認定特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議」が運営を担っており、貸会議室の利用(要登録)、ボランティアや市民活動に関する様々な相談や情報提供、活動に必要な機器の貸出しにも応じています。仲間を広げたり、活動のお知らせをする掲示板や団体が利用できるメールボックスもあります。活動の参考になる講座等も開催していますので、お気軽にご活用ください。